

## 第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和元年度)

施策コード	P5101
-------	-------

### 【基本構想／施策の体系】

基本構想	5 地域の未来	施策の体系	01.安全・安心な暮らしを守る防災・減災の推進
施策の方針	<p>身近な地区での防災・減災を推進するため、地区防災計画の策定及び更新を通じて地区の体制の強化を図るとともに、必要な施設・設備の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防・防災体制の強化を図る</li> <li>・ 氷川町建築物耐震改修促進計画に基づいた建築物の耐震化を促進する</li> </ul>		

担当部署	主管課	総務課
	関係課1	建設下水道課
	関係課2	
	関係課3	

### 【施策の現状】

施策の現状、 取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【消防力の充実と強化】 地区要望による消火栓の新設が2件、消防倉庫等の修繕等が4件、小型動力ポンプの耐用年数超過による更新が2件であった。</li> <li>・ 【防災ハザードマップ作成・更新】 令和2年度において更新作成予定。</li> <li>・ 【防災備蓄倉庫の整備・充実】 当初計画のとおり平成27年度～令和元年度の5年間で27,000食の備蓄を目標に整備を行ってきた。27,000食分の備蓄に達したため、今後は期限が過ぎた備蓄品の更新等を実施していく。</li> <li>・ 【一時避難所の整備】 令和元年度は予定している全ての土地購入を行い、野津防災公園については造成工事がほぼ終了した。宮原防災公園については、設計業務委託が令和2年6月に終了し、その後造成工事に入る予定。</li> <li>・ 【自主防災組織育成事業】 平成30年度までに町内全39地区において組織作りが完了、10月に実施した町防災訓練では全地区が参加し訓練を実施した。</li> <li>・ 【地区防災計画の策定及び更新支援】 当初の計画から3年を経過している地区もあり、見直す地区もみられる。</li> <li>・ 【防災行政無線デジタル化事業】 平成29年度～令和元年度の3ヶ年で整備を行っていく計画であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い海外部品工場が閉鎖し、国内への部品調達が困難に陥り、計画内に完了することができなかった。</li> <li>・ 【建築物の耐震化等支援】 地震防災マップを活用し、建築物の耐震診断・改修促進及び普及啓発を図るため計画に基づいた建築物の耐震化に向けた支援を実施する。氷川町建築物耐震改修促進計画（平成29年6月策定）に基づき、耐震化の目標達成に向けた既存建築物の耐震診断や改修を総合的かつ計画的に促進することを目的とする。</li> </ul>
------------------	---

【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R元事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	消防力の充実と強化	7,376	総務課	消防施設整備(小型ポンプ等更新)地区(件)	12	9	8				12	A
2	防災ハザードマップ作成・更新	0	総務課	防災ハザードマップ作成・更新率(%)	0	0	0				100	B
3	防災備蓄倉庫の整備・充実	4,943	総務課	防災備蓄用品の確保(食)	20,552	24,552	27,000				27,000	A
4	一時避難所の整備	52,260	総務課	防災公園の整備率(%)	0	0	60				100	A
5	自主防災組織育成事業	0	総務課	自主防災訓練の実施(地区)	39	39	39				39	A
6	地区防災計画の策定及び更新支援	0	総務課	地区防災計画の策定(更新)地区数(地区)	29	39	30				39	A
7	防災行政無線デジタル化事業	102,666	総務課	整備率(%)	1.27	58.89	72.44				100	A
8	建築物の耐震化等支援事業	1,000	建設下水道課	木造住宅耐震化率(%)	48.8	50	51				90	B
9												

【今後の方針】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【防災備蓄倉庫の整備・充実】一元管理が望ましいが他課からの備蓄品のニーズを考えれば検討する余地がある。</li> <li>・【自主防災組織育成事業】及び【地区防災計画の策定及び更新支援】地区住民への周知が必要である。</li> <li>・【防災行政無線デジタル化事業】新たに防災アプリや機器の導入等を行ったので、操作の習得が課題。</li> <li>・【建築物の耐震化事業】相談はあるものの工事費用が多額となるなどの理由により、実施数が少ない状況である。</li> </ul>
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【防災ハザードマップ作成・更新】冊子版及びWEB版を作成予定でスマホ等身近なツールでハザードマップ情報が確認できるようになる。</li> <li>・【地区防災計画の策定及び更新支援】 これまでは行政主導で策定を行っていたが、最近では、県内でも甚大な災害が発生していることから、地区・地域住民の方から、再度地域を見つめなおす動きが出てきている、この動きを支援していくことが必要。</li> <li>・【防災行政無線デジタル化事業】最近の異常災害に対応すべく防災アプリを導入したので、今後は操作習得に向けて職員研修を実施していく。また、防災行政無線等の防災の発信における情報伝達手段についてもSNS等を通じて迅速に的確な情報を発信できる体制を整える。</li> <li>・【建築物の耐震化事業】耐震診断及び耐震改修への支援、リフォームに併せた耐震化の誘導、耐震改修促進に関する税制措置の紹介、氷川町戸建て木造住宅耐震改修等事業の活用について、広報誌や町HPで事業の活用を促す。</li> </ul>

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる  
 B: 目標に向かってある程度進んでいる  
 C: 目標に向かってあまり進んでいない  
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
 総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	A
------	---



【今後の方針】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ感染症問題で社会不安が高まっており、会合の自粛等で講習会の受講者やパトロール・各種活動の減少も避けられない。</li><li>・大きな事件の発生もなく、平和に慣れ、警戒心の希薄化が懸念される。</li><li>・今後の高齢化、過疎化、連帯意識の希薄化を考慮したうえでの施策推進が求められる。</li></ul>
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・限られた予算で、いかに効率よく指標達成に向けた活動を行うかアイデアが必要。</li><li>・防犯に対する意識高揚、参加意識を高める活動を推進する。</li></ul>

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる  
B: 目標に向かってある程度進んでいる  
C: 目標に向かってあまり進んでいない  
D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【交通安全対策の体制強化】交通指導員のボランティア化に伴う各種手続きの推進</li> <li>・【交通安全教育の充実】交通安全運動以外の意識啓発活動の不足</li> <li>・【交通安全施設整備事業】交通安全施設の老朽化・摩耗に伴う改善要望の増加</li> </ul>
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【交通安全対策の体制強化】令和2年度初めで再び1名減となった交通指導員の補完</li> <li>・【交通安全教育の充実】コロナ感染症拡散防止のためイベント開催が抑制される中で感染防止を踏まえた意識高揚方策の実施</li> <li>・【交通安全施設整備事業】危険性・緊急性の高い施設の整備推進。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------

## 第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和元年度)

施策コード	P5201
-------	-------

### 【基本構想／施策の体系】

基本構想	5 地域の未来	施策の体系	01.古墳をはじめとする歴史的資源の保全、整備
施策の方針	<p>古墳群などの拠点的な歴史的資源の保全や環境整備とともに、歴史資料の収集・保存及び活用のためのPR活動を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的資源の環境整備を進める</li> <li>・歴史資料の整備・活用を進める</li> <li>・各地域での歴史的資源調査の実施及び保全・改善活動を支援する</li> </ul>		

担当部署	主管課	生涯学習課
	関係課1	地域振興課
	関係課2	
	関係課3	

### 【施策の現状】

施策の現状、取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【野津古墳群・大野窟古墳整備事業】野津古墳群・大野窟古墳保存活用計画書に基づき、整備に向け調査や整備計画を策定した。令和元年度は大野窟古墳の災害復旧事業を優先して実施している。</li> <li>・【歴史古墳ツーリズム・散策ルート環境整備事業】定期的な文化財の草刈り等を実施している。</li> <li>・【歴史的資源に関する資料の収集・整理及びPRの推進】史跡を保存し後世に伝えるため、また文化財を活用するため、史跡の環境整備を行う。</li> <li>・【町史編纂事業】町史編纂に向け、旧町の町史を基に関係資料の収集を行い、町内全域の踏査や確認調査を実施しているが、令和元年度は未実施。</li> <li>・【各地区のまちづくり活動支援（歴史資源の保全・PR）】地区に存在する文化財や史跡などを紹介する看板の設置を行政区活動活性化補助金制度で支援している。</li> <li>・【各地域の伝統的な祭り情報の収集とPR、保存・継承】地域や保存会の活動に対して助成を行っている。</li> </ul>
--------------	--

### 【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R元事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	野津古墳群・大野窟古墳整備事業	7,496	生涯学習課	大野窟古墳の復旧	保存活用 計画策定	大野窟古 墳の地震 復旧優先	大野窟古 墳の地震 復旧優先				完了	B
2	大王山古墳群の活用	0	生涯学習課	古墳群全域の把握・踏査(%)	0	0	0				完了	C
3	歴史古墳ツーリズム・散策ルートの 環境整備事業【再掲】	-	生涯学習課	草刈等の実施カ所(カ所)	17	10	17				20	B
4	歴史的資源に関する資料の収集・整理 及びPRの推進	0	生涯学習課	国県指定文化財パンフレットの 種類(種類)	4	4	4				9	C

5	町史編纂事業及び歴史的資源PR冊子の作成	0	生涯学習課	宮原地区踏査(%)	40	40	0				完了	C
6	各地区のまちづくり活動支援(歴史資源の保全・PR)	0	地域振興課	文化財・史跡の看板設置	一部設置	一部設置	要望なし				設置完了	C
7	各地域の伝統的な祭り情報の収集とPR、保存・継承	170	生涯学習課	学校への伝統芸能紹介例(例)	1	0	0				4	C
8												

【今後の方針】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【野津古墳群・大野窟古墳整備事業】大野窟古墳が熊本地震で被災したためその復旧事業を優先している状況にある。</li> <li>・【大王山古墳群の活用】大王山古墳群を適切に保存し後世に伝えるため、また文化財を活用するため、環境を整備する必要がある。そのため、大王山古墳群の調査を実施し、活用に向け計画づくりを行う必要がある。</li> <li>・【町史編纂事業】町史編纂に向け、旧町の町史を基に関係資料の収集(町内全域の踏査や確認調査)を行う必要がある。</li> <li>・【各地区のまちづくり活動支援(歴史資源の保全・PR)】各地区より要望があった際に着手するが、要望は極めて少ない。地区において文化財や史跡に対する活動の優先順位が低いと思われる。</li> </ul>
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【野津古墳群・大野窟古墳整備事業】大野窟古墳の災害復旧事業を優先して実施し、その後野津古墳群等の活用事業に進む予定としている。</li> <li>・【町史編纂事業】旧町の町史を基に関係資料の収集(町内全域の踏査や確認調査)を行う必要がある。正確な遺跡台帳及び遺跡地図を作成し、歴史パンフレットなどの作成に着手する。</li> <li>・【各地区のまちづくり活動支援(歴史資源の保全・PR)】次世代への歴史資源の伝承が必要である。各地区の歴史資源の「いわれ」や歴史を学ぶことも取り入れた活動も実施すべきと考える。</li> <li>・【各地域の伝統的な祭り情報の収集とPR、保存・継承】各地域にあった伝統的な祭りや伝統芸能の情報を集め、保存や復活の可能性を考える基礎資料を作り、地域学校協働本部事業等と連携して各地域の祭りや伝統芸能を保存・継承できるように進める。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	C
------	---





【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【住民自治によるまちづくり活動支援事業（伝統行事関連）】どんどやは比較的多くの地区で行われている。祭などの伝統行事に必要な道具等の修繕にも支援を行っているが、修繕が必要な事例は多くは発生しない。途切れた行事の復活など新しい取り組みが望まれる。</li> <li>・【文化祭を活用した地域の伝統・文化のPR活動支援】各地区での伝統行事等が、途絶えないように支援の必要がある。</li> <li>・【歴史・伝統・文化に関する人材育成】町内におられる歴史、郷土史等に興味がある新たな人材を発掘する必要がある。</li> </ul>
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【住民自治によるまちづくり活動支援事業（伝統行事関連）】保存活動に活用できる補助金等の周知を行う。</li> <li>・【文化祭を活用した地域の伝統・文化のPR活動支援】文化祭で、各地区の保存・再生活動の成果を発表する機会を作り、広く町内に周知するとともに、活動を盛り上げ、住民の文化意識を高める。</li> <li>・【歴史・伝統・文化に関する人材育成】文化財や歴史を題材とした公民館講座等を開催し、新たな人材の発掘を行う。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<p>・町内の歴史的資源に触れ、親しむための散策ネットワークづくりを進めるため、散策ルートを開発する必要がある。</p>
<p>今後の 施策展開</p>	<p>・野津古墳群、大野窟古墳、大王山古墳群などの指定文化財の環境整備、散策ルートの整備及び案内・解説サインを整備する。また、指定以外の町内遺跡や文化財を正確に把握し、散策ルートを計画していく。計画段階から道路整備や休憩所、トイレ、駐車場、案内サイン、解説サインなどの施設も計画する。</p>

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる  
 B: 目標に向かってある程度進んでいる  
 C: 目標に向かってあまり進んでいない  
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	<p>B</p>
------------------	----------

## 第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和元年度)

施策コード	P5301
-------	-------

### 【基本構想／施策の体系】

基本構想	5 地域の未来	施策の体系	01.住民自らが参画し、住民が主役となるまちづくりの支援
施策の方針	住民が主体的にまちづくりに関わる機会を創出するとともに、継続的な参加のための仕組みや体制づくりを支援します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域及び全町でのまちづくりへの参加機会を創出する</li> <li>・まちづくり参加の仕組みや体制づくりを進める</li> <li>・各地域でのまちづくり活動助成を進める</li> <li>・各地域でのまちづくり活動支援の制度、体制づくりを推進する</li> </ul>		

担当部署	主管課	地域振興課
	関係課1	総務課
	関係課2	企画財政課
	関係課3	生涯学習課

### 【施策の現状】

施策の現状、 取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【地区別計画の推進支援】 住民による地区別計画策定の支援、計画に基づく地区づくり活動の指導・助言を行った。</li> <li>・【総合振興計画の進行管理】 第2次総合振興計画の着実な推進を図るため、令和元年度より行政による内部評価及び総合振興計画審議会による外部評価を実施し、評価結果について町ホームページで公表し計画の進行管理を行った。行政評価システムを活用し実施計画書及び施策評価表の作成を行っている。</li> <li>・【氷川まつりなどのイベントへの参画、住民交流】 まつり開催による住民同志の融和や町外者との交流、交流人口の拡大、町の特産品のPRを図る予定だったがコロナの影響により中止とした。</li> <li>・【まちづくり条例の運用】 宮原地区において土地開発事業及び建築行為等に対する規制、誘導を行っている。</li> <li>・【住民自治組織の育成】 第2次地区別計画に基づいた住民自治活動への支援・助言を実施した。</li> <li>・【住民自治活動の広報・情報交流】 地区づくり活動について他地区での取り組み等を紹介し地区活動の醸成を図ったが、地区での取り組みは無かった。</li> <li>・【まちづくりの運営体制の強化】 未実施</li> <li>・【住民自治によるまちづくり活動支援事業】 まちづくり活動への活動支援、財政的支援を行う。各種申請、実施計画等について、全39地区のまちづくり活動の取組事業の支援を実施した。</li> <li>・【行政区活動活性化交付金】 令和元年度より地区に対する各種補助金（地区活性化総合交付金、住民主役のまちづくり補助金、地区館助成金等）を統合し、行政区活動活性化交付金として運用し、各地区のまちづくり活動を支援している。</li> <li>・【地区公民館建設支援事業】 地区活動拠点となる施設（地区公民館）充実のための補助を実施。</li> <li>・【地区館活動助成】 令和元年度より行政区活動活性化交付金制度へ移行。</li> <li>・【地区づくり体制の確立】 各地区において地区づくり会議を行うなど、地区づくり体制の確立を図っている。</li> </ul>
------------------	--

【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R元事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	地区別計画の推進支援	0	地域振興課	地区づくり活動への支援・相談機能の充実	実施	実施	実施				実施	A
2	住民参加による総合振興計画の見直し(進行管理)	300	企画財政課	進行管理の実施	未実施	実施	実施				実施	A
3	氷川まつりなどのイベントへの参画、住民交流	2,487	地域振興課	来場者数(人)	7,000	8,000	中止				8,000	B
4	まちづくり条例の運用	0	地域振興課	まちづくり条例に伴う事前協議の実施	実施	実施	実施				実施	B
5	住民自治組織の育成	0	地域振興課	自治組織の育成	実施	実施	実施				実施	B
6	住民自治活動の広報・情報交流	0	地域振興課	町広報誌の活用や地区づくり新聞発行地区数(地区)	2	0	0				10	C
7	まちづくりの運営体制の強化	0	地域振興課	NPO団体の設立支援(団体数)(団体)	0	0	0				1	C
8	住民自治によるまちづくり活動支援事業	— (1に含む)	地域振興課	全地区においてまちづくり活動の実施	実施	実施	実施				実施	A
9	地区活性化交付金業務 行政区活動活性化交付金	22,385	総務課 地域振興課	類似補助金との統合	未実施	検討	実施				実施	A
10	地区公民館建設支援事業	453	生涯学習課	地区公民館施設の充実	実施	実施	実施				実施	A
11	地区館活動助成 (行政区活動活性化交付金に統合)	— (1に含む)	生涯学習課	地区館活動の活性化	実施	実施	実施				実施	A
12	地区づくり体制の確立	0	地域振興課	自主的な地区づくり会議の開催	実施	実施	実施				実施	B
13												

## 【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【地区別計画の推進支援】平成30年度に策定した「第2次地区別計画」を指針とした地区づくり活動を展開する一方、交付金の統合に伴う混乱が生じた。</li> <li>・【総合振興計画の進行管理】行政評価システムへの入力作業や施策評価表作成など事務局からの働きかけやスケジュール管理が必要。</li> <li>・【氷川まつりなどのイベントへの参画、住民交流】隔年で開催地を交互に変更しているため準備等が煩雑である。また、竜北公園開催時には氷川まつりとは別に桜フェスタを翌週に行っているが、小規模の同内容イベントを同時期に実施することの意義を検討する必要がある。</li> <li>・【まちづくり条例の運用】開発建築行為を計画する事業者に対して、まちづくり条例に基づいた適正な土地利用の理解を求める必要がある。</li> <li>・【住民自治組織の育成】第2次地区別計画に基づき、地区活動を展開していく必要がある。</li> <li>・【住民自治活動の広報・情報交流】情報共有のため広報紙や地区の新聞の発行による広報活動の充実や各種会議による情報交流を進める必要がある。地区より要望があった際に動くため受動的である。</li> <li>・【まちづくりの運営体制の強化】体制の強化を図るための民間団体の掘り起こしが出来ていない。</li> <li>・【住民自治によるまちづくり活動支援事業】毎年、同じような事業を実施する地区が多く、マンネリ化している。新しい取り組みへの誘導が課題である。</li> <li>・【行政区活動活性化交付金】制度初年度ではあるものの、交付金の項目が多く、提出書類や添付書類の準備等の事務作業も煩雑で、区長等にとっては大きな負担となっている。</li> <li>・【地区づくり体制の確立】体制は確立されているので自主的かつ継続性のある地区づくり制度を推進する。</li> </ul>
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【地区別計画の推進支援】第2次地区別計画の実現に向けて、事業に取り組むよう指導・助言を行う。</li> <li>・【総合振興計画の進行管理】今後も施策事業の成果検証を行い、PDCAサイクルに基づく総合振興計画の進行管理を行っていく。</li> <li>・【氷川まつりなどのイベントへの参画、住民交流】継続実施、将来的にはコストダウンを図りつつ開催地を一本化したい。</li> <li>・【まちづくり条例の運用】土地利用計画及びまちづくり条例に基づいた適正な土地利用を推進する。</li> <li>・【住民自治組織の育成】第2次地区別計画を基本指針とした住民自治活動を支援する。</li> <li>・【住民自治活動の広報・情報交流】他地区の活動にも興味を持ってもらうような情報発信を行う。</li> <li>・【まちづくりの運営体制の強化】まちづくり活動を担うNPO団体など民間組織の発掘</li> <li>・【住民自治によるまちづくり活動支援事業】地区にとってより便利な財政支援の方法を検討する。</li> <li>・【行政区活動活性化交付金】各区長への制度の説明会を開催し、制度をより理解していただき、地区別計画に基づく活動や地区の運営に活用してもらう。</li> <li>・【地区公民館建設支援事業】地区集会所施設等を建築(増改築及び修理を含む。)しようとする地区に対して補助金を交付しており、今後も継続していく。</li> <li>・【地区づくり体制の確立】継続実施</li> </ul>

## 【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる  
 B: 目標に向かってある程度進んでいる  
 C: 目標に向かってあまり進んでいない  
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
 総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---







【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【まちづくりリーダー研修機能の強化】まちづくりの中心となる人材が不足しており、人材育成が急務である。</li> <li>・【人材ネットワークの充実】民間の任意団体では積極的な活動を行っているが、町独自での取り組みは行えていない状況にある。</li> <li>・【大学連携によるまちづくり事業】連携協定を締結した熊本高専との交流を図っていくとともに、町独自の取組を進めていく必要がある。</li> </ul>
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【まちづくりリーダー研修機能の強化】町が抱える課題解決のために、町の魅力を高め、発信することができる人材の育成を行っていく。</li> <li>・【人材ネットワークの充実】任意団体が持つノウハウを活用し、支援及び育成に関わっていく。</li> <li>・【大学連携によるまちづくり事業】熊本高専と連携協力し、防災・減災体制の強化策や住宅政策、ICTを活用した子どもたちへの教育支援に関する調査研究を進めていく。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>C</p>
-------------	----------



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【地区連携事業の検討】連携を必要とする事業や地区からの要望の有無を調査する必要がある。</li> <li>・【テーマ型住民活動支援制度の確立・充実】活動団体は地区づくり組織でも良いと思うが、新たな団体の発掘、育成も必要と思われる。</li> <li>・【地区の各種団体の維持・設立の促進】町子ども会に加入していないけれども地区で活動を行っている団体があると思われるが、把握できていない。</li> </ul>
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【地区連携事業の検討】世帯数が少なく、地区づくり活動の実施に苦慮している地区に対し、地区連携事業の提案・推進を図る。</li> <li>・【テーマ型住民活動支援制度の確立・充実】事業に取り組んでもらうために詳細な内容説明と具体的な活用方法について周知する必要がある。</li> <li>・【地区の各種団体の維持・設立の促進】区長などに団体の加入状況を調査し、加盟を促進する対象を把握する。また、現存する団体の維持に努める。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>C</p>
-------------	----------



【今後の方針】

施策の課題	・【人材育成の推進、機会の創出】継続した研修機会の創出ができていない。 ・【役場内に政策研究会の設置及び活動推進】未来まちづくり研究会の取組内容について、情報発信していく必要がある。
今後の施策展開	・【人材育成の推進、機会の創出】まちづくりに携わる職員のスキルアップにつながる研修を開催する。 ・【役場内に政策研究会の設置及び活動推進】町の課題の調査・研究など活動推進のための継続的な支援を行う。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---



【今後の方針】

施策の課題	・住民の自主的なまちづくり活動を支援するため、各種交付金や補助金を一元化したが、行政区活動活性化交付金の項目が多岐にわたっているため、区長による交付金申請が煩雑になっている。
今後の施策展開	・現行の制度により引き続き支援を行う。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	A
------	---





【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【まちづくり情報銀行、まちづくり酒屋の機能の拡充】情報銀行1階は秋山幸二ギャラリー常設展示場として、2階部分はまちづくり研修・会議の場として活用中。まちづくり酒屋は定期的に各種の展示イベント等を開催している。令和元年度で補修工事が完了したため、今後の活用方法について検討を行う必要がある。</li> <li>・【電子自治体による情報基盤の充実】専門知識の欠如。電子申請システムの構築及び使用に向けたベンダー等との協力及び連携が必要である。</li> <li>・【公共施設管理計画に基づく管理事業】個別施設計画を令和2年度末までに策定することで、施設の維持管理・更新等に係る対策の優先順位、対策の内容及び実施時期が明確になる。全ての施設を維持することが難しいため、施設所管課と連携を取りながら、施設再編等の検討を行う必要がある。</li> </ul>
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【まちづくり情報銀行、まちづくり酒屋の機能の拡充】現在の運営を行いながら、県内外の同規模施設の運営内容について情報収集しつつ、新規活用方法について検討する。</li> <li>・【電子自治体による情報基盤の充実】研修会等へ参加し、担当者のスキルアップを図るとともに、既存の「よろず申請」の活用を図っていく。</li> <li>・【公共施設管理計画に基づく管理事業】個別計画と評価結果に基づき、令和3年度に公共施設等総合管理計画の改訂と併せて統廃合を含めた各施設の再編及び優先順位に基づいた維持管理を行う。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------